

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員
斉藤くに子
区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議団http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/



2020年1月12日No1205号

区役所直通3802-4627
fax3806-9246

★法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜

1月27日(月)

★荒川区荒川17-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax3806-5134

★生活相談は随時随時に応じます。ご連絡ください。

★別の日程でも弁護士事務所の予約を取りますので
ご連絡ください。



ご意見ご要望

○キャッシュレスのすすめの
テレビ番組が増えているように
思います。しかもマイナンバー
カード誘導も盛んです。
ニコニコ現金払いはダメと言わ
れているようで悔しいです。

2020年どうぞよろしくお願い致します



私も70代の仲間入りします。
ポーとせずに働きます。

2月には区の新年予算の審議も行われます。
住民が主人公、みなさんの声を区政に生かしてまいります。

モリかけ、さくら今度はカシノ...ウソとごまかし、政治の私物化が続いています。
2020年しっかりカリゲジメをつけさせましょう。国民の暮らしを守る政治にするため
に力を合わせます。



国民健康保険料の値上げはダメです



後期高齢者保険も値上げ案！！

東京都広域連合が11月に示した案では、均等割を2018～2019年度に比べ年900円、所得割を0.01ポイント引き上げです。

加入者1人当たり年101,254円(前期比4,127円増)とする計画。

1月半ばに最終案を示す予定となっています。

安倍政権が低所得者の保険料軽減の縮小・窓口2割負担も狙っています。保険料は値上げ、負担は増やす！高齢者いじめではないでしょうか。

空前の大儲けの大企業や所得1億円以上は税の負担割合が減る超大金持ち層に、応分の負担を求めて財源を確保し、社会保障を拡充する方向に転換する必要があります。

高すぎる国保料 命奪う

東京都国保運営協議会に国の仮係数に伴う算定で、一人あたり4,639円(1.03倍)の値上げが報告されました。また、東京都は急激な値上げを抑えるための独自の財政支援を実施しないとしています。

共産党・区長会に引き下げ要請

23区(千代田・江戸川・中野を除く)は統一保険料方式で、最終的には区長会で均等割額・所得割料率・保険料年間限度額などを決定しますので、昨年12月13日に23区の日本共産党区議団で申入れを行いました。

国保料は毎年の値上げが続いて、高すぎて支払いが困難となり、滞納が増えています。

住民税よりも高い国保料です。全国知事会も『協会けんぽの保険料並み』に引き下げるための『1兆円の公費負担増』を要望しています。

かかる総医療費を、国保加入者で割り返して保険料を決めるのは限界があります。

値上げを押さえ、引き下げを行うため国、東京都、荒川区が一般会計から財源を投入すべきです。

